

県下唯一の 脳卒中治療ケアユニット(SCU)

脳卒中ケアユニット (SCU)

脳卒中センターは脳神経外科、脳神経内科が共働して脳卒中という病気を診ています。脳卒中は脳の血管が詰まったり破れたりした結果として神経が壊れる病気です。よって治療の対象は脳というよりも血管で、予防も全身の血管すべてを見る必要があります。好生館脳卒中センターはそういった時代の要請を踏まえて内科外科の枠を越えて脳卒中患者さんに対応する診療体制を提供します。さらに脳卒中治療専門病床である脳卒中治療ケアユニット (SCU) を整備。運用時から増床し、充実をはかっています。

病床数：9床



医療チーム

脳卒中センターはマンパワーが核です。最新の医療情報をもとにした日々の診療を通じて、これからの医療を担う人材の養成にも積極的に取り組んでいきます。

脳神経外科

- 脳卒中センター長/部長 松本 健一
日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医、
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医、
日本脳卒中の外科学会技術指導医
- 医長 井戸 啓介
日本脳神経外科学会脳神経外科専門医・指導医、
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医・指導医、
日本脳神経血管内治療学会専門医
- 医師 横溝 明史
日本脳神経外科学会脳神経外科専門医
- 医員 並川 裕貴
脳神経外科専攻医
- 医員 藤井 裕太郎
脳神経外科専攻医

脳神経内科

- 部長 高島 洋
日本神経学会専門医・指導医、
日本内科学会認定内科医、
総合内科専門医・指導医、
日本脳卒中学会認定脳卒中専門医、
日本認知症学会専門医・指導医、
認知症サポート医
- 医員 飯田 紘太郎
日本内科学会認定内科医
- 医員 津村 圭亮

リハビリテーション科

- 部長 山之内 直也
日本リハビリテーション医学会リハビリテーション科専門医・指導医

脳卒中急患のご依頼は、「脳卒中センターホットライン」まで

24時間対応 0952-29-9982
地域連携の理念のもと、急性期治療が終われば
かかりつけの先生へのフォローをお願いします。

救命救急センター

- 救命救急センター長/救急科部長 岩村 高志
日本救急医学会 救急科専門医・指導医、日本集中治療医学会 集中治療専門医、
日本外傷学会 外傷専門医、日本外科学会 外科認定医、
日本航空医療学会 認定指導者
- 医長兼災害医療対策準備室長 小山 敬
日本救急医学会救急科専門医、日本内科学会認定医、
日本航空医療学会認定指導者
- 医長兼外傷センター副センター長 松本 康
日本救急医学会救急科専門医、日本内科学会認定医・総合内科専門医、
日本航空医療学会認定指導者
- 救急科医長 甘利 香織
日本救急医学会救急科専門医、日本内科学会認定医・総合内科専門医、
日本循環器学会専門医
- 救急科医長 吉富 有哉
日本救急医学会救急科専門医、日本内科学会認定医・総合内科専門医、
日本航空医療学会認定指導者
- 救急科医員 龍 知歩

看護部

- 6階西病棟兼SCU看護部長 古川 佳子
- 救命救急センター看護部長 井上 真弓
- 救命救急センター副看護部長 徳永 香里
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師
- SCU副看護部長 今村 裕志
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師

栄養管理部

- 管理栄養士 原田 歩美
- 管理栄養士 牛島 圭太
病態栄養認定管理栄養士、静脈経腸栄養(TNT-D) 管理栄養士

薬剤部

- 薬剤師 仲 真美恵
- 薬剤師 森永 ひかり

MSW

- MSW 馬場 早希
- MSW 久保田 優子

脳卒中センター

Stroke Center



2021.9



地方独立行政法人
佐賀県医療センター 好生館

〒840-8571 佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
TEL0952-24-2171 (代) FAX0952-29-9390

詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.koseikan.jp/>

好生館

検索



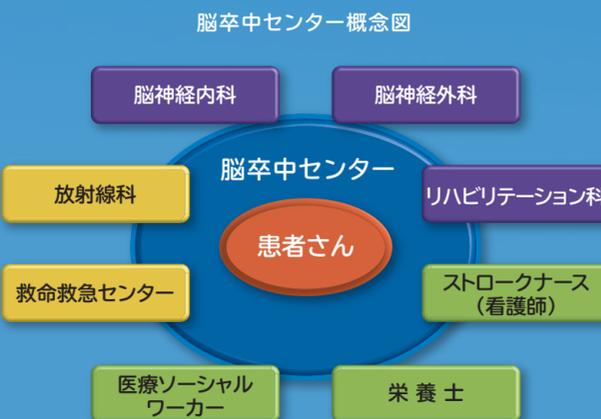
脳卒中センター Stroke Center



脳卒中センター長
脳神経外科部長
松本 健一

皆さん、健康寿命という言葉をご存知ですか？健康寿命とは、日常生活を制限されことなく健康的に生活を送ることができる期間のことを指します。最新の統計では、日本人の平均寿命とこの健康寿命との差は男性で約9年、女性で約12年もあります。言いかえると、多くの方が長い要介護生活の後に寿命を全うしているということです。これまで元気だった方が、要介護の状態になる主たる原因のひとつが脳卒中（脳血管疾患）です。予防が大切なのは論を俵ちませんが、不運にも脳卒中を発症しても迅速な治療で後遺症を軽くすることも増えてきました。

好生館脳卒中センターでは、迅速に動けるフットワークと、様々な専門性を持つ多職種が協力して患者さんの管理を行うチームワークを何よりも重視しています。今年で開設8年目となりますが、これまでに培ったフットワークとチームワークで、脳卒中の予防と治療を通して、皆様の健康寿命の増進に貢献できれば幸いです。好生館脳卒中センターをどうかよろしくお願ひ致します。



脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター

医療ソーシャルワーカー

栄養士

ストロークナース（看護師）

リハビリテーション科

患者さん

脳卒中センター

脳神経外科

脳神経内科

放射線科

救命救急センター